



## 上野の森バレエホリデイ 2018 Noism1 特別公演

# Mirroring Memories

—それは尊き光のごとく

金森穰 自らの内にある恩師ベジャールとの  
対話からはじまった原点回帰のオムニバス！

### 金森穰ソロによる新作を含む、全 12 作品からなる Noism の歴史をたどるスペシャルステージ

日本が誇るバレエの殿堂・東京文化会館でゴールデンウィークに開催される〈上野の森バレエホリデイ 2018〉で、Noism1 のスペシャル・ステージが実現！ Noism は、新潟を拠点に活動する日本で唯一の公共劇場専属舞踊団。バレエでもモダンでもコンテンポラリーでも演劇でもない、独自の舞台を生み出すこと、すなわち「no・ism（無主義）」の活動を続ける中で、2008 年からの 10 年間に創作してきた 10 作品から“黒衣”にまつわるシーンを選出。そこに金森穰自身が出演する新作を加え、新解釈で構成するオムニバス作品。

#### Noism1 特別公演『Mirroring Memories—それは尊き光のごとく』

演出振付：金森穰

出演：Noism1 = 井関佐和子、中川賢、池ヶ谷奏、吉崎裕哉、浅海侑加、チャン・シャンユー、坂田尚也、井本星那、  
鳥羽絢美\*、西岡ひなの\* / 金森穰（特別出演）

\*準メンバー

日時：2018 年 4 月 28 日（土）17:30、29 日（日）15:00、30 日（月祝）13:30 \*全 3 回

会場：東京文化会館〈小ホール〉

バレエと出会おう、バレエで遊ぼう

# 上野の森 バレエホリデイ 2018

4月26日(木)~30日(月・祝)

東京文化会館

JR上野駅 公園口改札を出てすぐ

### 上野の森バレエホリデイ 2018

日本が誇るバレエの殿堂・東京文化会館内の施設を使い、舞台上演はもちろん、ダンサーたちのクラスレッスンやリハーサルの公開、各種ワークショップ、バレエ関連のショップが軒を連ねる“バレエマルシェ”、バレエウェアのファッションショーや野外パフォーマンス等々、さまざまなイベントを集中開催。バレエを観る人も、踊る人もバレエをよく知る人も知らない人も、みんなで楽しめる“上野名物”のお祭りです！

特設サイト：<http://balletholiday.com>

## Director's Note

金森 穰

この度、主催者より〈上野の森バレエホリデイ 2018〉への参加を打診していただいた。述べ 5 日間に渡り、大ホールはもちろん、野外でも様々な催しが行われ、上野の森がバレエ（ダンス）一色に染まると言う。Noism のパフォーマンス会場は小ホールということだが、東京文化会館の小ホールといえば、舞台が非常に狭く、上演に際しては幾多の課題があると聞く。私は即答できず、会場を視察してからの判断にさせて欲しいとお願いした。

当日会場入りした私はまず、その予想以上の狭さに閉口した。そして追い打ちをかけるように、客席も何も動かしてはいけないという、施設運営側からの条件が突きつけられる。その時点で私は半ば諦めかけていたのだが、私の心が別のことを言う「東京文化、ベジャール・・・」と。そこで私は自らの内にある「ベジャール」との対話を通し、本作品の構想を得たのである。

### 2008 年

今から 10 年前の 2008 年は、演出振付家・金森穰にとってのターニング・ポイントであった。それは恩師ベジャールが前年暮れ、しかも私の誕生日に亡くなったことにより、私に原点回帰を迫ってきたからである。恩師が言ったように「死は終わりではなく、始まりである」のなら、「始まりにこそ宿る死に、生の全てが込められている」だろう。私は自らの原点に宿る死を見つめ、『Nameless Hands – 人形の家』を皮切りに、演劇性の強い物語舞踊を創作し始めたのである。

### 物語舞踊

演劇性の強い物語舞踊が私の原点であることの要因は、18 歳の私がベジャールの元で創作を始めたのが、演劇の授業内であったこと、そして当時、ベジャールが私の目の前で創作していた作品が、演劇性に溢れていたことが関係していると思われる。もちろんベジャールはその人生において膨大な量の作品を創作し、中には『ボレロ』に代表される抽象バレエ（儀式バレエと呼ぶべきか）も数多くある。しかしベジャールがその人生において創作し続けたのは常に、愛と死にまつわる人間賛歌（人間批判では決してない）の物語である。そしてその手法（思想）が芸術的にも文化的にも融合的であったことは史実である。

### no・ism

ベジャールの思想は、ベルギーのムードラからローザヌムのレードラ（私はその一期生）に至るまで、彼が創設した学校の授業科目にも顕著である。音楽／声楽、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリー、即興、創作、演劇／サーカス、剣道など、学生はその身一つでありとあらゆる身体表現を学ぶ。「20 世紀は舞踊の世紀である」と宣言したベジャールは、20 世紀以降の舞踊家には、垣根を超えた身体的素養が求められると考えていたのである。そしてその先見の明は私の活動、バレエでもモダンでもコンテンポラリーでも演劇でもない、独自の舞台を生み出すこと、すなわち no・ism（無主義）の活動の礎となっている。

### 黒衣

私が創作する物語舞踊には、必ずと言っていいほど黒衣（あるいは黒衣的な存在）が登場し、私にとっての死や運命、あるいは本能といった抗いようのない力として物語を牽引して行く。そこには、殆ど強迫観念と言えるほどに私の思考を支配する「私は何かに導かれている」という感覚が関与している。それを神秘主義的だと言われれば否定できないし、それを“導かれていたい”という欲望の表れだと言われれば首肯するしかない。しかし私にとってはその実感こそが自らの生に意味を与えるものであり、私はその感覚を強く信じている。そして何より、舞踊家である私にとって日々の鍛錬とは、全体的にその感覚を研ぎ澄ますためのものに他ならないのである。

### 10 の欠片

本作品は、2008 年からの 10 年間に私が創作してきた 10 の作品から、黒衣にまつわる（あるいはそう置き換えられる）10 のシーンを選出し、それを新作で挟み込む形で構成されている。オリジナルをご存知の観客には、黒衣に置き換えたことによる新解釈を楽しんでもらえるように思う。ベジャール・ファンにとっては自明だが、過去の作品から共通のテーマに則ったシーンを選出し、それをオムニバスの構成することは、恩師の得意とした手法である。

### 恩師へ

あなたへの思いを胸に、導かれるままに本作品を構想し、新作『Distant Memory』と『Träume – それは尊き光のごとく』を創作します。もしあなたが本作品を観たら、なんと言うのでしょうか。あの深い緑色の眼差しで、何も言わずに微笑みを浮かべ、優しく頷いてくれるのでしょうか。私の処女作を観た、あの時の様に・・・

## 『Mirroring Memories—それは尊き光のごとく』

- 00: 『Distant Memory』(2018) **\*新作**  
 01: 『Nameless Hands—人形の家』(2008) より「彼と彼女」  
 02: 『Nameless Poison—黒衣の僧』(2009) より「病んだ医者と貞操な娼婦」  
 03: 劇的舞踊『ホフマン物語』(2010) より「アントニアの病」  
 04: 『Psychic 3.11』(2011) より「Contrapunctus」  
 05: 『Nameless Voice—水の庭、砂の家』(2012) より「シーン9—家族」  
 06: 『ZAZA』(2013) より「群れ」  
 07: 劇的舞踊『カルメン』(2014) より「ミカエラの孤独」  
 08: 『ASU』(2015) より「生贄」  
 09: 劇的舞踊『ラ・バヤデール—幻の国』(2016) より「ミランの幻影」  
 10: 『マッチ売りの話』(2017) より「拭えぬ原罪」  
 11: 『<sup>トロイメ</sup>Träume—それは尊き光のごとく』(2018) **\*新作**

演出振付：金森穰

出演：Noism1

井関佐和子、中川賢、池ヶ谷奏、吉崎裕哉、浅海侑加、チャン・シャンユー、  
 坂田尚也、井本星那、鳥羽絢美\*、西岡ひなの\* / 金森穰（特別出演）

\*準メンバー

日時 2018.4.28 (土) 17:30 / 29 (日) 15:00 / 30 (月祝) 13:30

会場：東京文化会館〈小ホール〉

※全3回

入場料：S席 6,500円 / A席 5,500円 / 学生券 1,500円

取扱：▶NBS（電話・オンライン）

WEBチケット <http://www.nbs.or.jp/>

チケットセンター Tel.03-3791-8888（平日 10:00-18:00、土曜 10:00-13:00、日祝休）

▶りゅーとぴあ（窓口・電話・オンライン）

チケット専用ダイヤル Tel.025-224-5521（11:00-19:00、休館日除く）

オンライン・チケット <http://www.ticket.ne.jp/ryutopiaticket/>

▶イープラス <http://eplus.jp/>

▶チケットぴあ Tel.0570-02-9999（Pコード：483-934）<https://t.pia.jp>

▶ローソンチケット Tel.0570-000-407（10:00-22:00）

（Lコード：32134）<http://l-tike.com>

▶東京文化会館チケットサービス Tel.03-5685-0650

問合せ：NBS チケットセンター Tel.03-3791-8888

NBS バレエホリデー係 [balletholiday@nbs.or.jp](mailto:balletholiday@nbs.or.jp)

主催：〈上野の森バレエホリデー〉実行委員会 協力：東京文化会館（公益財団法人東京都歴史文化財団）



『Nameless Hands—人形の家』 Photo : Isamu Murai



『psychic 3.11』 Photo : Kishin Shinoyama



『Nameless Voice—水の庭、砂の家』 Photo : Kishin Shinoyama



『ASU』 Photo : Kishin Shinoyama



劇的舞踊『ラ・バヤデール—幻の国』 Photo : Kishin Shinoyama

## Profile

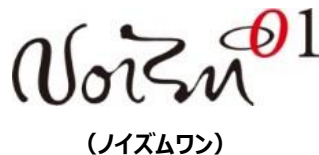


Photo:Kishin Shinoyama

### 金森 穰 Jo KANAMORI

演出振付家、舞踊家。りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館 舞踊部門芸術監督／Noism 芸術監督。  
17歳で単身渡欧、モーリス・ベジャール等に師事。ルードラ在学中から創作を始め、NDT2 在籍中に20歳で演出振付家デビュー。10年間欧州の舞踊団で舞踊家、演出振付家として活躍したのち帰国。2004年4月、りゅーとびあ新潟市民芸術文化会館舞踊部門芸術監督に就任し、日本初の劇場専属舞踊団Noismを立ち上げる。近年ではサイトウ・キネン・フェスティバル松本での小澤征爾指揮によるオペラの演出振付を行う等、幅広く活動している。新潟市文化創造アドバイザー、京都芸術センター運営委員。平成19年度芸術選奨文部科学大臣賞、平成20年度新潟日報文化賞ほか受賞歴多数。

www.jokanamori.com Twitter / @jokanamori



(ノイズムワン)

りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館を拠点に活動する日本で唯一の公共劇場専属舞踊団。演出振付家・舞踊家の金森穰がりゅーとびあ舞踊部門芸術監督に就任したことにより2004年に設立。プロフェッショナルカンパニーNoism1と研修生カンパニーNoism2で構成。Noism1はモスクワ・チェーホフ国際演劇祭との共同制作や、サイトウ・キネン・フェスティバル松本のオペラ&バレエへの出演など、国内や海外各地で多岐に渡って活動している。舞踊家たちの圧倒的な身体と鋭い問題意識に裏打ちされた作品、新潟から世界を見据えたカンパニー活動は、21世紀の新たな劇場文化モデルとして各方面から注目を集めている。

www.noism.jp

Photo : Noriki Matsuzaki, Ryu Endo (準メンバー)

井関佐和子  
Noism 副芸術監督

中川賢



池ヶ谷奏



吉崎裕哉



浅海侑加



チャン・シャンユー



坂田尚也



井本星那



西岡ひなの\*



鳥羽絢美\*

\*準メンバー

## 作品に関するお問い合わせ

りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館 Noism 上杉・堀川

〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町3-2

Tel: 025-224-7000 Fax: 025-224-5626 Mail: info-noism@ryutopia.or.jp

Noism オフィシャルウェブサイト www.noism.jp



Noism



@noismPR



noism\_official